

# 東京外環道 東名JCTシールドトンネル工事で地上に異変！ 野川であぶく発生！

→酸欠ガスが大深度地下から噴出  
野川遊歩道・工事ヤード内に出水！

→地中の地下水が噴出



★2018年5月、シールドマシン駆動を再開。

初期掘進(組立作業)中で、気泡発生装置動作確認のため

★5/14、遊歩道へのお水と野川でガス噴出。

15日には、東京外環トンネル施工等検討委員が発生状況をチェック。これは、通常ではないことが発生し、対応検討が必要なことを事業者が認識しているということ。

★5/18、工事に起因とHPにお知らせ掲載。

気泡噴出は環境に影響がないと広報サイト「東京外環プロジェクト」に掲載。住民に直接の連絡はなかった。

★7/4、外環ネットはマシン停止と説明会開催を申し入れ。ガス噴出および地下水流出について、マシンの停止、原因究明、説明会の開催などを求める申入書を事業者に提出。7月中の回答を求めている。



激しく噴出する野川のおぶく(6/14)



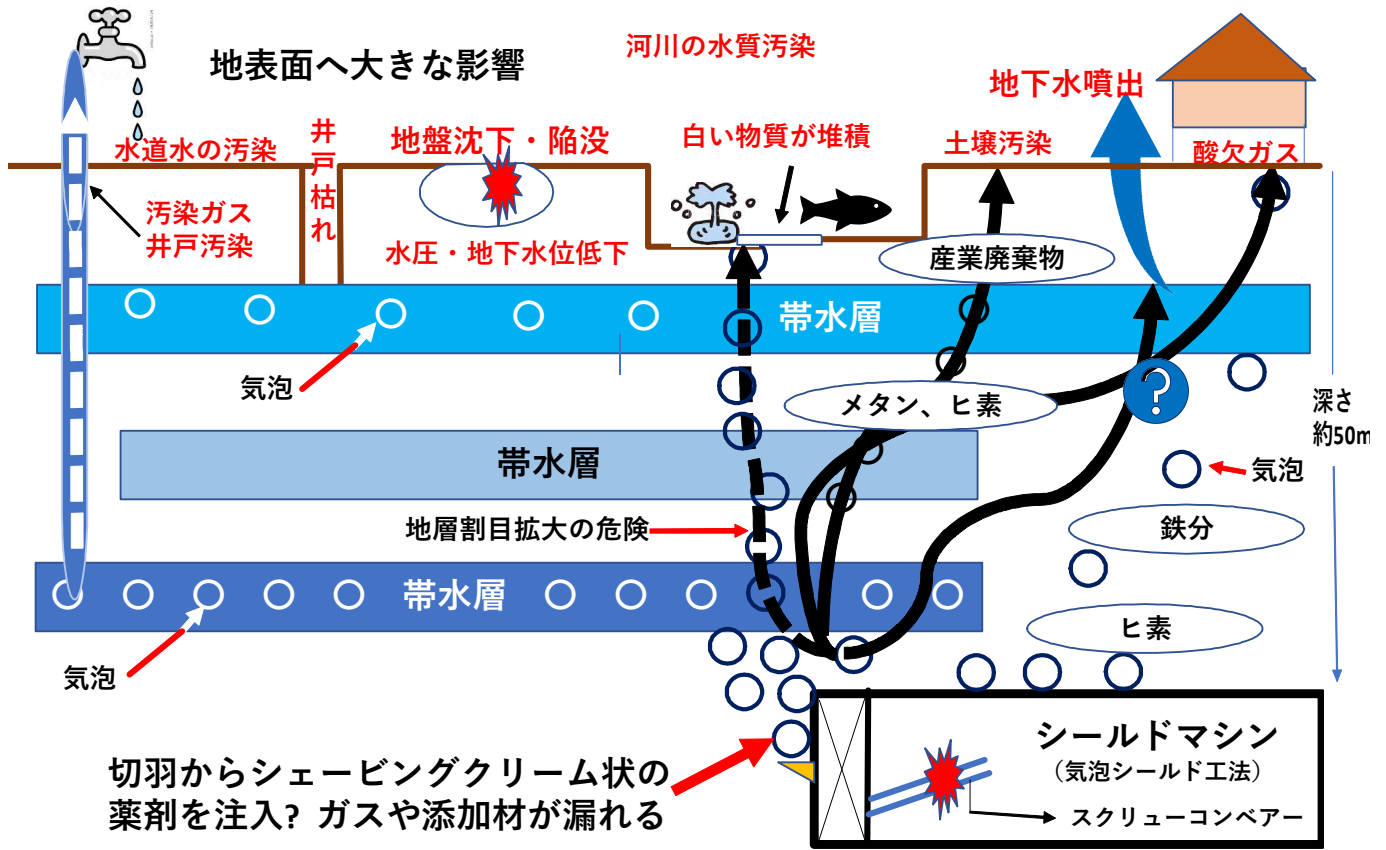
細かい気泡が泡立つ野川

## 外環東名北シールド工事初期掘進シールドマシン・気泡発生箇所、地下水流出箇所



(東京外環プロジェクトHP情報 + NEXCO東日本 片倉氏電話回答 + 本年7月オープンハウス情報他より作成)

# 東名JCTトンネル工事で何が起きているの？ 野川の酸欠ガス・地下水噴出が示す危険な予兆



## あなたの家の下にも 酸欠ガスや地下水噴出のおそれが？！

### ◆大深度地下から

ガス・地下水噴出？！

シールドマシンから地中に注入した添加剤入りのガスが噴出したため、大深度地下と地表がつながってしまいました。その結果、酸欠ガス噴出、土壌汚染、地下水汚染、地表面の陥没、地盤沈下などのおそれがいよいよ強くなってきました。

### ◆住民への連絡はなし

これらの異変はホームページに掲載されただけで、沿線自治体や住民にはすぐに知らされませんでした。



博多駅前陥没事故の二の舞は御免です

### ◆絵に描いた餅の緊急避難計画

7/4~8のオープンハウスでは、緊急避難計画となるものとして「トンネル工事の安全・安心確保の取り組み」が配布されました。しかし、異変が起きても住民に直接知らされないのでは、いくら緊急事態の避難計画をつくっても、絵に描いた餅でしかないのではないのでしょうか。

### ◆説明会開催・工事中止を申し入れ

大深度法は、地表に影響がないことが大前提です。地上や地下の立体都市計画範囲外に影響与える工事は違法です。説明会開催と工事中止等を申し入れています。

外環ネット(連絡先)

mail:info-gaikannet@gaikan.net